



平成28年7月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年3月11日

上場会社名 株式会社シーアールイー 上場取引所 東
 コード番号 3458 URL http://www.cre-jpn.com
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 山下 修平
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 永浜 英利 TEL 03-5572-6600
 四半期報告書提出予定日 平成28年3月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家・アナリスト向け）

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年7月期第2四半期の連結業績（平成27年8月1日～平成28年1月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年7月期第2四半期	7,662	△37.3	397	△74.3	307	△79.5	57	△94.7
27年7月期第2四半期	12,213	—	1,550	—	1,496	—	1,080	—

(注) 包括利益 28年7月期第2四半期 57百万円 (△94.7%) 27年7月期第2四半期 1,081百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年7月期第2四半期	10.01	9.47
27年7月期第2四半期	256.20	—

- (注) 1. 当社は、第2四半期の業績開示を平成27年7月期から行っているため、平成27年7月期第2四半期の対前年同四半期増減率を記載しておりません。
 2. 当社は、平成26年12月10日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して算定しております。
 3. 平成27年7月期第2四半期の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益は、潜在株式は存在するものの、当社株式は非上場であったため、期中平均株価が把握できませんので、記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年7月期第2四半期	32,789	9,066	27.7
27年7月期	27,152	8,967	33.0

(参考) 自己資本 28年7月期第2四半期 9,066百万円 27年7月期 8,966百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年7月期	—	0.00	—	10.00	10.00
28年7月期	—	0.00	—	—	—
28年7月期（予想）	—	—	—	13.00	13.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 平成28年7月期の連結業績予想（平成27年8月1日～平成28年7月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,638	37.3	2,597	9.4	2,314	5.9	1,403	4.9	246.27

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

新規 2社 (社名) 匿名組合ロジスクエア羽生、匿名組合AGインベストメント

除外 1社 (社名)

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（1）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（2）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料P. 4「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年7月期2Q	5,839,100株	27年7月期	5,700,700株
② 期末自己株式数	28年7月期2Q	50株	27年7月期	50株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年7月期2Q	5,765,723株	27年7月期2Q	4,219,350株

(注) 当社は、平成26年12月10日付で普通株式1株につき50株の株式分割を行っております。発行済株式数（普通株式）につきましては、当該分割が前連結会計年度の期首に行われたと仮定して、算出しております。

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了しております。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。

また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府による経済対策や日本銀行の継続的な金融政策等を背景に、企業収益や雇用情勢に改善がみられ、景気は緩やかな回復基調で推移いたしました。しかしながら、中国経済の減速、欧州での地政学的リスク等から依然として先行き不透明な状況が続いております。

物流不動産の賃貸管理や開発、アセットマネジメントを中心に、事業系不動産に関するサービス全般を事業領域とする当社グループ事業におきましては、電子商取引市場の拡大から荷主企業のロジスティクス戦略が高度化し、多頻度小口輸送等に対応できる機能性の高い物流施設の需要が堅調に続いております。物流施設を投資対象とするJ-REITも増加することから、物流不動産市場は引き続き活性化しております。

このような事業環境のもと、不動産管理事業では、平成27年10月末に管理面積の総計が100万坪を超えた以降も、高稼働を維持しつつ更なる管理面積の純増を目指してまいりました。これにより、マスターリースやプロパティマネジメントを中心とした安定収益を順調に積み上げております。物流投資事業では、今期中の竣工・売却を見込んでいる「ロジスクエア久喜」及び「ロジスクエア羽生」の建設が順調に進捗している他、来期竣工予定である開発プロジェクトにつきましても着工に向けた準備を着実に進めております。アセットマネジメント事業では、受託資産残高の成長に向けた取組みを実施しており、アセットマネジメントフィー等のフィー収入が安定収益の上積みに寄与しております。

また、平成27年10月には、株式会社エンバイオ・ホールディングスと資本業務提携契約を締結いたしました。土壌汚染地の浄化再生を通じ双方のノウハウを共有し協業する中で、新たな収益機会を創出してまいります。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高7,662,550千円（前年同期比37.3%減）、営業利益397,771千円（前年同期比74.3%減）、経常利益307,375千円（前年同期比79.5%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益57,718千円（前年同期比94.7%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

<不動産管理事業>

不動産管理事業につきましては、マスターリース物件が前期に引き続き高い稼働率を維持したこと、プロパティマネジメントの管理面積が堅調に推移したことから、安定的に収益が計上されました。一方、物流投資事業が手掛ける開発物件のリーシング活動を、建設に併せて進めているところであり、当期は当該リーシングフィーの獲得を下半期に見込んでおります。その結果、売上高は7,503,128千円（前年同期比3.4%減）、営業利益は701,463千円（前年同期比14.1%減）となりました。

<物流投資事業>

物流投資事業につきましては、当連結会計年度に竣工予定の開発物件「ロジスクエア久喜」及び「ロジスクエア羽生」の建設を進めているところであり、売上高は1,533千円（前年同期は4,306,170千円の売上高）、営業損失は50,392千円（前年同期は929,127千円の営業利益）となりました。

<アセットマネジメント事業>

アセットマネジメント事業につきましては、アセットマネジメントフィーが堅調に推移したほか、信託受益権売買の媒介手数料収入等を計上した結果、売上高は172,573千円（前年同期比26.6%減）、営業利益は98,626千円（前年同期比16.2%減）となりました。

<その他の事業>

その他の事業につきましては、重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産、負債及び純資産の状況)

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における流動資産は23,288,886千円となり、前連結会計年度末に比べ4,177,391千円増加いたしました。これは主に仕掛販売用不動産が2,420,291千円、販売用不動産が1,214,052千円増加したことによるものであります。固定資産は9,500,631千円となり、前連結会計年度末に比べ1,459,404千円増加いたしました。これは主に投資有価証券が1,051,047千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は32,789,517千円となり、前連結会計年度末に比べ5,636,796千円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における流動負債は8,444,805千円となり、前連結会計年度末に比べ4,683,222千円増加いたしました。これは主に1年内返済予定の長期借入金が3,860,400千円増加したことによるものであります。固定負債は15,277,837千円となり、前連結会計年度末に比べ854,117千円増加いたしました。これは主に長期借入金が880,350千円増加したことによるものであります。

この結果、負債合計は23,722,642千円となり、前連結会計年度末に比べ5,537,339千円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末の純資産は9,066,875千円となり、前連結会計年度末に比べ99,456千円増加いたしました。これは主に新株予約権の行使により資本金及び資本剰余金がそれぞれ49,547千円増加し、また親会社株主に帰属する四半期純利益57,718千円を計上したことによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、8,592,173千円となり、前連結会計年度末と比べ175,408千円の増加となりました。各キャッシュ・フローの状況とその要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、2,881,835千円の資金使用（前年同期は2,269,712千円の資金獲得）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益130,659千円の計上により資金が増加し、一方でたな卸資産の増加3,813,148千円により資金が減少したことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、1,697,939千円の資金使用（前年同期は424,406千円の資金使用）となりました。これは主に、有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入2,133千円により資金が増加し、一方で有価証券及び投資有価証券の取得による支出1,052,400千円、有形固定資産の取得による支出539,063千円により資金が減少したことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、4,755,183千円の資金獲得（前年同期は1,024,685千円の資金使用）となりました。これは主に、長期借入れによる収入5,100,000千円により資金が増加し、一方で長期借入金の返済による支出359,250千円により資金が減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年7月期の業績予想につきましては、平成27年9月10日に公表しております業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間において、匿名組合出資により匿名組合ロジスクエア羽生及び匿名組合AGインベストメントを連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

(税金費用の計算)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計方針の変更

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」（企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。）、「連結財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。）及び「事業分離等に関する会計基準」（企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。）等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

これによる損益に与える影響はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,916,797	8,592,173
売掛金	178,824	172,741
完成工事未収入金	130,985	108,833
有価証券	809,802	309,635
販売用不動産	608,484	1,822,537
仕掛販売用不動産	8,985,056	11,405,348
前払費用	356,948	367,711
繰延税金資産	121,447	122,414
その他	43,128	604,581
貸倒引当金	△39,981	△217,089
流動資産合計	19,111,494	23,288,886
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	2,156,952	2,286,255
減価償却累計額	△981,981	△887,891
建物及び構築物（純額）	1,174,971	1,398,364
機械装置及び運搬具	348,997	348,997
減価償却累計額	△65,674	△82,418
機械装置及び運搬具（純額）	283,322	266,579
工具、器具及び備品	46,462	49,583
減価償却累計額	△37,659	△39,784
工具、器具及び備品（純額）	8,803	9,799
土地	1,459,562	1,733,227
リース資産	474,297	474,297
減価償却累計額	△117,877	△131,718
リース資産（純額）	356,420	342,579
建設仮勘定	10,657	—
有形固定資産合計	3,293,738	3,750,551
無形固定資産		
のれん	148,815	136,749
その他	73,353	67,314
無形固定資産合計	222,169	204,063
投資その他の資産		
投資有価証券	104,909	1,155,956
破産更生債権等	318,184	312,223
繰延税金資産	161,093	161,093
敷金及び保証金	4,167,655	4,129,537
その他	76,845	83,891
貸倒引当金	△303,369	△296,685
投資その他の資産合計	4,525,319	5,546,016
固定資産合計	8,041,226	9,500,631
資産合計	27,152,721	32,789,517

（単位：千円）

	前連結会計年度 (平成27年7月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年1月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	974,048	2,051,508
工事未払金	142,354	226,130
1年内返済予定の長期借入金	556,100	4,416,500
1年内償還予定の社債	40,000	22,500
リース債務	20,980	21,690
未払法人税等	169,033	33,829
前受収益	1,142,118	1,108,443
賞与引当金	35,549	40,947
役員賞与引当金	45,000	—
転貸損失引当金	50,329	28,991
資産除去債務	80,605	—
その他	505,461	494,264
流動負債合計	3,761,582	8,444,805
固定負債		
長期借入金	8,982,625	9,862,975
リース債務	413,166	402,130
退職給付に係る負債	188,003	198,150
転貸損失引当金	13,354	13,172
資産除去債務	125,745	129,563
受入敷金保証金	4,467,230	4,456,160
その他	233,594	215,685
固定負債合計	14,423,719	15,277,837
負債合計	18,185,302	23,722,642
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,506,140	1,555,687
資本剰余金	3,095,040	3,144,587
利益剰余金	4,365,630	4,366,342
自己株式	△35	△35
株主資本合計	8,966,775	9,066,582
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	42	△206
その他の包括利益累計額合計	42	△206
非支配株主持分	600	500
純資産合計	8,967,418	9,066,875
負債純資産合計	27,152,721	32,789,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
売上高	12,213,052	7,662,550
売上原価	9,708,767	6,223,264
売上総利益	2,504,284	1,439,286
販売費及び一般管理費	953,586	1,041,515
営業利益	1,550,698	397,771
営業外収益		
受取利息	1,919	2,935
受取配当金	876	2,403
買取債権回収益	4,233	3,220
受取和解金	—	6,140
その他	5,804	3,085
営業外収益合計	12,834	17,784
営業外費用		
支払利息	53,116	69,132
支払手数料	3,569	39,047
その他	10,719	—
営業外費用合計	67,404	108,179
経常利益	1,496,127	307,375
特別利益		
固定資産売却益	2,031	—
投資有価証券売却益	—	283
関係会社株式売却益	177,102	—
特別利益合計	179,133	283
特別損失		
貸倒引当金繰入額	—	177,000
固定資産除却損	1,984	—
投資有価証券評価損	9,999	—
特別損失合計	11,984	177,000
税金等調整前四半期純利益	1,663,277	130,659
法人税等	582,278	72,940
四半期純利益	1,080,998	57,718
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,080,998	57,718

(四半期連結包括利益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
四半期純利益	1,080,998	57,718
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	252	△249
その他の包括利益合計	252	△249
四半期包括利益	1,081,251	57,468
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,081,251	57,468
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,663,277	130,659
減価償却費	94,534	87,515
のれん償却額	6,033	12,066
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△64,320	170,424
賞与引当金の増減額(△は減少)	5,314	5,397
転貸損失引当金の増減額(△は減少)	△20,803	△21,520
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△45,000	△45,000
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	15,294	10,147
受取利息及び受取配当金	△2,795	△5,339
支払利息	53,116	69,132
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△283
投資有価証券評価損益(△は益)	9,999	—
関係会社株式売却損益(△は益)	△177,102	—
固定資産売却損益(△は益)	△2,031	—
売上債権の増減額(△は増加)	100,909	28,234
たな卸資産の増減額(△は増加)	1,739,450	△3,813,148
仕入債務の増減額(△は減少)	145,673	1,161,235
前渡金の増減額(△は増加)	△78,279	△239,205
未払消費税等の増減額(△は減少)	△206,043	△219,232
敷金及び保証金の増減額(△は増加)	223,453	39,532
預り敷金及び保証金の増減額(△は減少)	△42,143	△20,180
その他	59,448	62,743
小計	3,477,983	△2,586,820
利息及び配当金の受取額	1,288	3,254
利息の支払額	△43,884	△53,969
法人税等の支払額	△1,165,675	△244,300
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,269,712	△2,881,835
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有価証券及び投資有価証券の取得による支出	—	△1,052,400
有価証券及び投資有価証券の売却及び償還による収入	—	2,133
関係会社株式の売却による収入	397,570	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△215,186	—
連結の範囲の変更を伴う子会社への出資による支出	△664,781	—
出資の回収による収入	313,830	—
有形固定資産の取得による支出	△360,526	△539,063
有形固定資産の売却による収入	204,461	—
無形固定資産の取得による支出	△30,852	△5,761
資産除去債務の履行による支出	△12,720	△80,605
貸付けによる支出	△55,000	—
その他	△1,201	△22,243
投資活動によるキャッシュ・フロー	△424,406	△1,697,939

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年8月1日 至平成27年1月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年8月1日 至平成28年1月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	220,000	940,000
短期借入金の返済による支出	△2,000,000	△940,000
長期借入れによる収入	1,520,000	5,100,000
長期借入金の返済による支出	△734,550	△359,250
社債の償還による支出	△21,700	△17,500
リース債務の返済による支出	△8,435	△10,326
ストックオプションの行使による収入	—	99,094
配当金の支払額	—	△56,834
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,024,685	4,755,183
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	820,620	175,408
現金及び現金同等物の期首残高	5,006,789	8,416,765
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,827,410	8,592,173

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間（自平成26年8月1日 至 平成27年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	不動産管理 事業	物流投資 事業	アセット マネジメ ント事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,698,755	4,303,112	211,184	12,213,052	—	12,213,052	—	12,213,052
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	64,819	3,058	24,000	91,878	—	91,878	△91,878	—
計	7,763,575	4,306,170	235,184	12,304,931	—	12,304,931	△91,878	12,213,052
セグメント利益	816,786	929,127	117,663	1,863,578	—	1,863,578	△312,879	1,550,698

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産ファンドへの売却を前提とした投資用不動産に関する事業であります。

2. セグメント利益の調整額△312,879千円には、セグメント間取引消去△16,500千円、のれんの償却額△6,033千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△290,346千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社は、平成26年8月1日に、ストラテジック・パートナーズ株式会社の全株式を取得し、連結の範囲に含めました。これに伴い、第1四半期連結会計期間より、報告セグメントを従来の2事業にアセットマネジメント事業を追加し、3事業としております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(のれんの金額の重要な変動)

アセットマネジメント事業セグメントにおいて、ストラテジック・パートナーズ株式会社を平成26年8月1日付で子会社化いたしました。当該事象によるのれんの増加額は、当第2四半期連結累計期間において162,892千円であります。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間（自平成27年8月1日 至 平成28年1月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	不動産管理 事業	物流投資 事業	アセット マネジメ ント事業	計				
売上高								
外部顧客への 売上高	7,502,253	142	160,154	7,662,550	-	7,662,550	-	7,662,550
セグメント間 の内部売上高 又は振替高	874	1,390	12,419	14,684	-	14,684	△14,684	-
計	7,503,128	1,533	172,573	7,677,235	-	7,677,235	△14,684	7,662,550
セグメント利益 又は損失	701,463	△50,392	98,626	749,697	△3,274	746,423	△348,652	397,771

- (注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産ファンドへの売却を前提とした投資用不動産に関する事業であります。事業を営む特定目的会社ノースイーストが当第2四半期連結会計期間において清算終了しております。
2. セグメント利益の調整額△348,652千円には、セグメント間取引消去8,083千円、のれんの償却額△12,066千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344,669千円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費等であります。
3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。